

かくだ市議会だより



第417回定例会

- 質疑・討論 …………… 2・3
- 議案審議結果 …………… 4
- 一般質問 …………… 5～11

角田市議会から

- 令和3年度政務活動費収支報告 …… 11
- 議会日誌 …………… 11
- 議会だよりアンケート結果 ……… 12

【今号の表紙】『夏を彩る』

夏も本番、阿武隈川堤防の近くが黄金色、丹精込めて育てたヒマワリ畑です。

《撮影》吉田 広 さん

撮影日：2021年7月25日 場 所：角田市枝野

表紙写真・イラスト等募集しています

詳細は角田市ウェブサイト内「かくだ市議会だより表紙写真・イラスト等募集」をご覧ください。



第417回 6月定例会

第417回定例会は6月10日から6月28日までの19日間の会期で開かれました。

市長から提案のあった条例の改正、新型コロナウイルス感染症や3月16日に発生した福島県沖地震に係る補正予算などの議案21件を審議し、原案のとおり可決・承認しました。

一般質問では、11人の議員が、市政全般にわたり論戦を繰り広げました。

また、議員提出議案が1件提出され、原案のとおり可決されました。

一般・特別会計補正予算一覧 (単位:千円)

Table with 3 columns: 会計区分, 補正額(6月), 補正後の額. Rows include 一般会計 and 介護保険特別会計.

一般会計の主な補正予算項目 (単位:千円)

Table with 3 columns: 項目, 補正額. Rows include 公共土木施設災害復旧事業費負担金, 災害等廃棄物処理事業費補助金, etc.

歳出(支出) (単位:千円)

Table with 3 columns: 項目, 補正額. Rows include 災害等廃棄物処理事業, 小学校施設整備事業, etc.

議案第41号

災害等廃棄物処理事業

3月16日に発生した福島県沖地震により半壊以上の判定となった家屋等の解体撤去等の費用を助成するもの。

事業内容について説明を求めます。

答 罹災証明書が全壊、大規模半壊、中規模半壊または半壊と判定された家屋等の所有者が対象となる。なお、助成には公費解体(※1)と自費解体(※2)の区分がある。
※1 公費解体・市が解体撤去等を実施。
※2 自費解体(費用償還)・既に家屋等の解体撤去等を実施した場合に、その費用(上限あり)を市が負担。

一般会計補正予算(第4号)

農業用施設維持管理事業

県内で発生したため池の水難事故を受け調査した結果、応急対策として立入防止柵や看板を設置するもの。

調査内容とその結果は。

答 市内81カ所あるため池のうち、集落回りや通学路に近接する38カ所について緊急点検を実施した結果、危険標識が無い、フェンス破損などが確認されたため、19カ所で簡易的な立入防止柵や注意喚起を促す看板を設置する。
なお、残りの43カ所についても引き続き調査を行っている。

小学校施設整備事業

3月16日に発生した福島県沖地震により、外壁の一部が崩落した桜小学校屋内運動場の外壁パネルの全面交換を行うもの。

どのような改修が行われるのか。

答 旧来の工法では強い地震に対する追従性が弱いため、ロッキング工法(免震工法・躯体の鉄骨に完全に固定しない工法)を用いる。安全性を確保する観点から、復旧ではなく機能強化を図る意図で予防改修としてパネルの全面交換を行う。



▲整備前の安全対策(桜小屋内運動場)

反対討論... 日下 七郎

住宅管理費の人員費10、131千円の補正に係る財源の住宅使用料は、住宅管理費と公債費(元金・利子)に使用が指定されている。補正予算(第4号)では、当初予算にて、住宅使用料4,564千円を一般財源に流用し、歳入歳出の収支合わせと思われる。さらに、一般財源に流用した住宅使用料と一般財源の40千円を加算した4,604千円を住宅使用料とし、補正財源としたことは、充当順位を遵守されていない。
また、金津小学校児童生徒のスクールバス乗車距離が2キロメートル以上とのことであり、教育委員会は、児童生徒の通学距離を2キロメートルと定める必要があると思われる等の理由から反対する。

賛成討論... 堀田 孝一

今回の補正予算は、新型コロナウイルス感染症による経済的影響は大きく、以前の生活に戻るのには長期化するものと思われ、経済的負担の軽減、並びに生活困窮者を支援する事業として不可欠である。さらに、小規模事業者の支援、および地域経済の活性化を図る上で重要な事業である。また、福島県沖地震関連事業として、生活再建および児童の安全・安心、並びに公共土木施設の復旧を行うための予算処置で、緊急性を要するものである。
以上のようにいずれも、経済的負担軽減と市民生活の安定と安心を守るために必要な事業であることから賛成する。

議案第37号

職員の育児休業等に関する条例の一部改正

非常勤職員の育児休業の取得要件緩和など、国の措置に準拠し改正するもの。

育児休業を取得できるようになる職員とは。

答 育児休業中に任用が更新され、規則に定める日数(一週間の勤務日が3日以上、または一年間の勤務日が121日以上)を満たす非常勤職員が対象となる。

議案第40号

角田市防災会議条例の一部改正

委員定数を25人以内から30人以内へ改正するもの。

改正理由について詳細説明を求めます。

答 災害が多発化・激甚化していることに鑑み、より専門的な意見を地域防災計画に反映させていく必要がある。ICTの活用・情報収集も必要なことからNNT東日本や東北電力、自主防災組織の活性化を図るため引き続き行政区への委嘱など、幅広い委員の構成を検討している。

皆さんからの陳情

女性トイレの維持及びその安心安全の確保を求める意見書の提出を求める陳情
共同代表 飯野 香里 ほか3人

国民の祝日「海の日の7月20日」への固定化を求める意見書の提出を求める陳情
会長 衛藤 征士郎

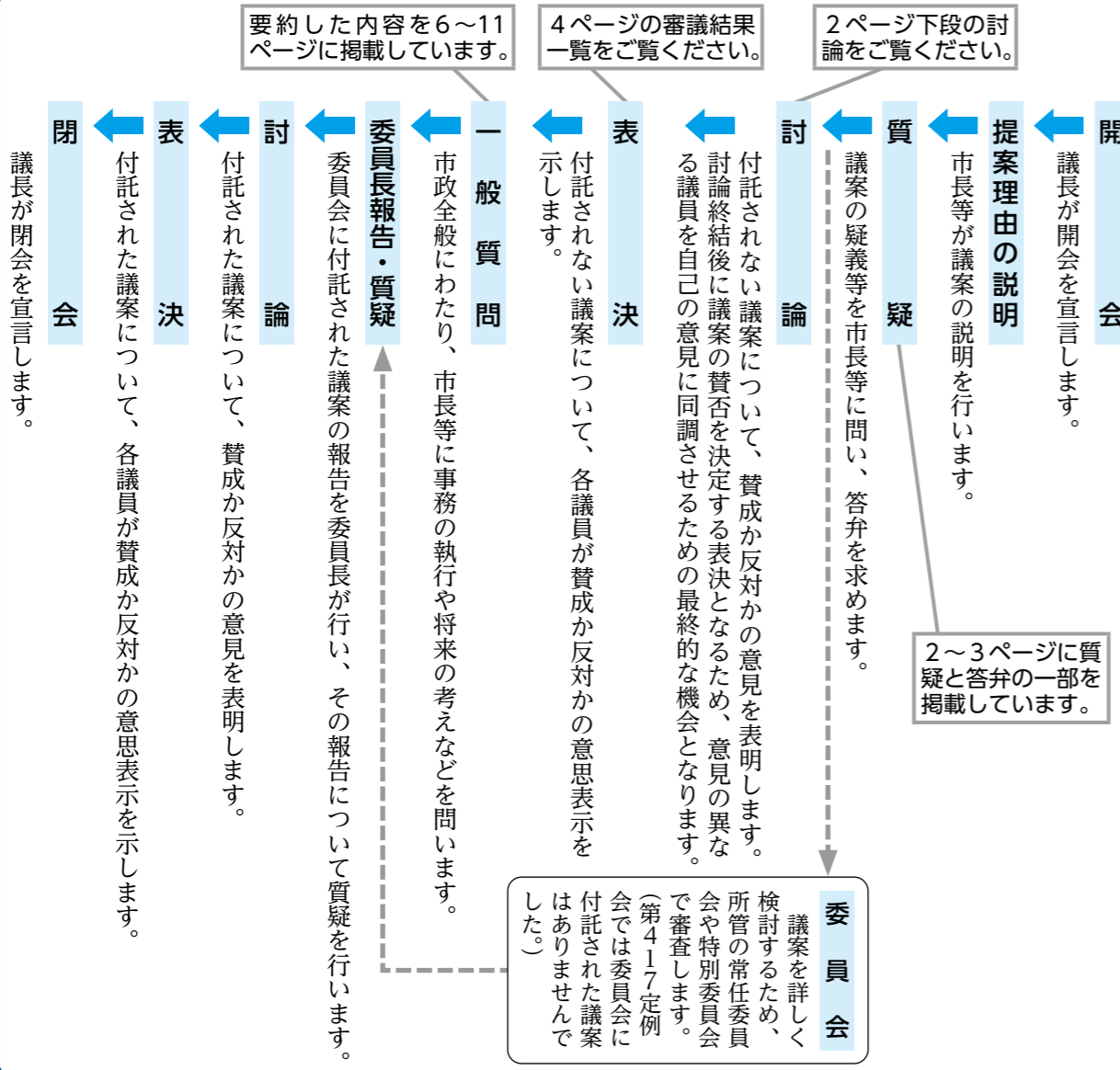
インボイス制度(適格請求書等保存方式)からシルバークラブの適用除外を求める意見書の提出を求める陳情
公益社団法人角田市シルバークラブ センター
理事長 高橋 達征

沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情
辺野古を止める!全国基地引き取り緊急連絡会
代表 漆山 ひとみ

中国共産党による臓器収奪を非難し、人権状況の改善を求める意見書の提出を求める陳情
井田 敏美

議会のギモン

定例会はどのように進むの?
角田市議会定例会は、おおむね次のように進められます。



一般質問とは、角田市のさまざまな課題などについて、市長や教育長などに対し、事務の執行や将来の考えを質すことです。質問は一問一答で、議員1人につき30分以内（答弁時間は含めない）で行われます。

質問した議員ごとに要約してお知らせします。（その他の質問の要約は掲載されておりませんので、録画中継の配信をご視聴ください。）

| 相澤 邦戸 | 小島 正 | 菅野 マホ | 湯村 勇 | 柄目 孝治 | 星 隆悦 | 質問議員 (質問順) |
|---|---------------------------------|---|-----------------------|---|--|---------------|
| 自治センターの活動のさらなる活性化について 廃校となる市内の小・中学校の歴史、資料の保存について | 小田川について その他の質問 ・小田浄水場について | 「市民力」で、支え合える角田市へ 「災害ボランティアセンター施設」の臨時開設、および常設について 角田市社会福祉協議会と市役所各課間の情報共有について | 角田農業振興地域整備計画（見直し）について | 角田市水道事業における理想像具現化に向けた取り組みについて JAXAと本市の連携について | 予算の執行、公金の管理及び危機管理について 市民からの要望、苦情等への対応について ひとり親世帯に対する支援団体について 企業誘致について | 質問項目 |
| 8 | 8 | 7 | 7 | 6 | 6 | 頁 |

ライブ・録画配信をやっています

<http://www.kakuda-city.stream.jfit.co.jp>



インターネットを利用したパソコン・スマートフォン・タブレット端末及び市役所東庁舎1階の市民ホールのテレビでもライブ中継がご覧いただけます。

また、インターネットによる録画中継の配信も行っております。

角田市議会 映像配信 検索

第417回（令和4年6月）定例会

傍聴者数 5人
インターネットライブ中継視聴者数 延べ 350人

インターネット録画中継視聴者数
4月～6月 延べ 385人

【お詫び】6月24日のライブ中継で、視聴できない、映像が不安定になる現象が発生しました。市民の皆さまには御不便・御迷惑をお掛けしましたことをお詫びいたします。

| 日下 七郎 | 菊地 利衛 | 馬場 道晴 | 小湊 毅 | 八島 定雄 | 質問議員 (質問順) |
|--|----------------|---------------------|---|--|---------------|
| 金津小学校施設整備事業に関するについて その他の質問 ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金のさらなる活用について | 角田市が元気を取り戻すために | ナッジ理論を活用したまちづくりについて | 角田市の公衆トイレについて その他の質問 ・角田市市民提案型まちづくり事業について | 角田市の「生活保護事業」について その他の質問 ・農林業系放射能汚染廃棄物の処分について | 質問項目 |
| 11 | 10 | 10 | 9 | 9 | 頁 |

議案審議結果一覧

賛成と反対がわかれたもの

○…賛成 ×…反対 -…退席又は欠席 議長(渡邊 誠)は採決に加わらない。

| 提出者 | 議案番号 | 件名 | 審議結果 (賛成:反対) | 会派一心 | | 市民クラブ | | 日本共産党 角田市議員団 | | 無会派 | | | | | | | | | |
|-----|------------|--|-----------------|----------|---------|---------|-------|-----------------|---------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|---|
| | | | | 菊地 利衛 | 小湊 毅 | 星 隆悦 | 戸村眞喜夫 | 星 守夫 | 小島 正 | 湯村 勇 | 日下 七郎 | 八島 定雄 | 堀田 孝一 | 武藤 広一 | 菅野 マホ | 馬場 道晴 | 柄目 孝治 | 相澤 邦戸 | |
| 市長 | 議案 第27号 | 専決処分の報告並びにその承認を求めることについて (令和3年度角田市一般会計補正予算(第16号)) | 承認 (13:2) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案 第31号 | 専決処分の報告並びにその承認を求めることについて (角田市国民健康保険税条例の一部改正について) | 承認 (12:2) | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案 第39号 | 角田市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部改正について | 可決 (13:2) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 議案 第41号 | 令和4年度角田市一般会計補正予算(第4号) | 可決 (13:2) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議員 | 議案 第3号 | インボイス制度(適格請求書等保存方式)からシルバー会員の適用除外を求める意見書の提出について | 可決 (14:1) | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

全員が賛成したもの

| 提出者 | 議案番号 | 件名 |
|------------|-------------------------|---|
| 市長 | 議案 第28号 | 専決処分の報告並びにその承認を求めることについて (令和3年度角田市水道事業会計補正予算(第6号)) |
| | 議案 第29号 | 専決処分の報告並びにその承認を求めることについて (角田市市税条例の一部改正について) |
| | 議案 第30号 | 専決処分の報告並びにその承認を求めることについて (角田市都市計画税条例の一部改正について) |
| | 議案 第32号 | 専決処分の報告並びにその承認を求めることについて (令和4年度角田市一般会計補正予算(第1号)) |
| | 議案 第33号 | 専決処分の報告並びにその承認を求めることについて (令和4年度角田市水道事業会計補正予算(第1号)) |
| | 議案 第34号 | 専決処分の報告並びにその承認を求めることについて (令和4年度角田市一般会計補正予算(第2号)) |
| | 議案 第35号 | 専決処分の報告並びにその承認を求めることについて (令和4年度角田市一般会計補正予算(第3号)) |
| | 議案 第36号 | 角田市議会議員及び角田市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について |
| 議案 第37号 | 職員の育児休業等に関する条例の一部改正について | |

| 提出者 | 議案番号 | 件名 |
|------------|-----------------------|---|
| 市長 | 議案 第38号 | 角田市市税条例等の一部改正について |
| | 議案 第40号 | 角田市防災会議条例の一部改正について |
| | 議案 第42号 | 令和4年度角田市介護保険特別会計補正予算(第1号) |
| | 議案 第43号 | 令和4年度角田市水道事業会計補正予算(第2号) |
| | 議案 第44号 | 令和4年度角田市下水道事業会計補正予算(第1号) |
| | 議案 第45号 | 令和4年度角田市総合保健福祉センター自家発電設備設置工事請負契約の締結について |
| | 議案 第46号 | 令和4年度角田市総合体育館屋上・外壁改修工事請負契約の締結について |
| 議案 第47号 | 令和4年度角田市一般会計補正予算(第5号) | |



特別表彰 議員30年以上
小島 正 議員

▲定例会初日に全国市議会議長会表彰状の伝達が議場で行われました。

議員表彰

国に意見書を提出
令和5年10月に導入予定となっている適格請求書等保存方式(インボイス制度)について、シルバー会員への配分金の適用を除外する等の適切な措置を講じるため、内閣総理大臣はじめ、国の関係機関に次の意見書を提出しました。

インボイス制度(適格請求書等保存方式)からシルバー会員の適用除外を求める意見書



予算の執行、公金の管理
及び危機管理について

星 隆悦

議員▼過日、山口県阿武町で発生した、多額の公金を誤送する事件は他山の石とすべき。本市の公金の振込事務について問う。

市長▼主に指定金融機関のファームバンキングサービス(※1)を利用してデータ伝送による総合振込(※2)を行っている。振込データは個々の伝票に基づき財務会計システムで作成し、伝票は規程により多くの職員の確認と審査が行われる。

(※1)金融機関と電話回線などを通じて専用端末やソフトウェアなどで接続し、資金移動ができるデータ通信サービス

(※2)一定の支払日に多数の振込を一括処理する取引

市民からの要望、苦情等への対応について

議員▼民主主義の根幹である「選挙制度」とともに、「市民の声」に謙虚に耳を傾けなければならない。「市長への直通便」の対応、処理状況について問う。

市長▼受理した直通便は市長以下皆で確認後、担当課で精査する。その後、市長が署名した回答文書を差出人宛てに送付する。なお、令和3年度受付は33件であった。

議員▼民間のように「グループ集」を作成し、全庁で共有してはどうか。

市長▼再発防止のためには有効な手段でもあるが、誠心誠意・懇切丁寧な対応、迅速さが大切と考え

議員▼千葉県松戸市の「すべやる課」は役所仕事といわれる弊害を打破し、全国の自治体が見習った。本市でも同様の対応をしているが、一部の市民には対応の遅さを指摘する声がある。なぜ遅れるのか、情報を公開する必要があるか、見解を問う。

市長▼迅速な対応を心掛けているが、法的・予算

的制限もあり時間を要する場合もある。説明責任と情報の公開に努めたい。議員▼市政懇談会の再開は考えているか。

市長▼コロナ禍により難しい状況だが、広聴の機会の確保に努めたい。

ひとり親世帯に対する支援団体について

議員▼ひとり親世帯支援団体である母子福祉会に対する支援の強化を図る考えはあるか。

市長▼前向きに検討する。

企業誘致について

議員▼用地取得、整備、企業誘致状況を問う。

市長▼用地造成は事業内容について地権者へ説明し、当初計画の6割程度でご協力を頂ける運びとなったため、整備に向けた準備を進めている。また、企業からの照会について迅速に対応できるように、情報の確保と受入れ体制を整えている。

農地が有効に利用されるよう努めたい。

市長▼法改正により遊休農地の解消や今まで農地を取得しなくてもできなかった方々への農業への参入が拡大することに期待している。農業振興公社を窓口の新規就農者の増加のための施策の強化を図り、農地取得を断念するケースを減らし、新規就農者の獲得のための施策に取り組んでいく。また、兼業農家や小規模農家なども多様な担い手として増えていくことも期待できることから、周知を徹底していきたい。

議員▼山元町では農地法の特例規定に基づき要件を緩和している。本市でも遊休農地解消と市外からの移住促進を図る目的として進めてはどうか。

市長▼移住定住に向けての施策として、前向きに検討していきたい。



角田市水道事業における理想像
現化に向けた取り組みについて

柄目 孝治

議員▼水道料金、水質問題、災害対応、事業経営など、自治体は自力で対応していけるのか、水道ビジョンへの対応と理想像の実現に向け、推進進めていけるのか問う。

市長▼水道事業を取り巻く環境は決して楽観視できるものではなく、課題は丸々残っていると認識している。水道経営基盤の強化、経営効率化を図る方策として、令和4年度中に宮城県水道広域化推進プランがまとめられる予定あり、本市では水道ビジョンに基づき、社会情勢に対応できる持続可能な経営に努めていく。

議員▼水道ビジョンが展開されていく中で、市民の理解、市民の持つ知恵・知力も活かされていくべきである。水道事業の運営に市民参画の機会を作る必要があると考えるが見解を問う。

市長▼市民から意見を頂く機会をつくることは検討していきたい。また、市民にしっかりと理解を求めながら、ともに水道事業を推進していくべきとの思いは全く同感である。

その他の質問

・広域化推進プランの概要・詳細説明について

・水道ビジョンの今後10年間の投資計画の中で示されている、配水管更新事業のうち、老朽配水管更新事業に関する当面の計画について

・3月16日に発生した福島県沖地震に鑑み、被害状況と市民への情報提供の在り方について

JAXAと本市の連携について

議員▼JAXAとの連携が活発に、かつ、密になるにつれ、若者の持つ無

限の可能性や夢を育む機運は年々高まっている。これは市長が唱える「市民力」を生み、育み、醸成する思いに通じるものだと思うが見解を問う。

市長▼様々なイベントや活動を通し、市民が子ども達とともに歩みながら醸成してきた、角田ならではの「市民力」だと認識している。今後この連携がしっかりと深まるよう努めていく。

教育長▼角田市教育の基本理念である「学びって楽しい!」を具現化するものであり、学びに向かう力は「市民力」の醸成につながるものと確信している。

議員▼一人でも多く有能なる若者の郷土定着こそが「市民力」と解する。連携をさらに深め、次のアクションを起こしていく事が必要な時期に来ていることを提言する。



角田農業振興地域整備計画(見直し)について

湯村 勇

議員▼農業振興地域整備計画(以下「計画」という。)による農用地区域とその他の区域の耕作放棄地の面積について問う。

農業委員会会長▼市全体の農地面積5,049haのうち、農振農用地区域は約114ha、その他の区域は約176haである。

議員▼計画の見直しにおいて、農用地区域から耕作放棄地を除外する考えはあるのか。

市長▼農用地区域は、一定程度まとまりのある農地である。対象となる農地を除外する際は、場所や周辺への影響などを考慮するため、単に耕作放棄地という理由で除外は行わない。

議員▼農用地区域からの耕作放棄地の除外は、農地転用が可能となり、山間地では耕作放棄地の解消や、幹線道路に面した農地は土地利用の促進が

図られると考えるが、計画見直しについて問う。

市長▼幹線道路に近く事業用地などの活用により利となる農地もあることを踏まえて検討しており、今年度内の計画策定を予定している。

議員▼農地付き空き家を呼び込む自治体が増えている。遊休農地の解消と、移住者の促進を図るため農地付き空き家の取得や農業を行いたい方への農地のみの取得について、法改正と併せて本市の取組を問う。

農業委員会会長▼空き家バンク制度に登録された空き家とともに附属する農地の権利を取得する場合には限り、下限面積要件の緩和を行っている自治体があることや、農地法の改正により農地を取得する際の下限面積要件が廃止となることを踏まえ、

農地が有効に利用されるよう努めたい。

市長▼法改正により遊休農地の解消や今まで農地を取得しなくてもできなかった方々への農業への参入が拡大することに期待している。農業振興公社を窓口の新規就農者の増加のための施策の強化を図り、農地取得を断念するケースを減らし、新規就農者の獲得のための施策に取り組んでいく。また、兼業農家や小規模農家なども多様な担い手として増えていくことも期待できることから、周知を徹底していきたい。

議員▼山元町では農地法の特例規定に基づき要件を緩和している。本市でも遊休農地解消と市外からの移住促進を図る目的として進めてはどうか。

議員▼日本は超高齢社会を迎えているが、高齢者の心のケアが置き去りにされている。若者を含め広く市民から「寄り添い(傾聴)ボランティア」を募集・育成し、施設や自宅で独り暮らしをしている高齢者を「市民力」で支えていく活動を自治体が行うよう勧めたい。

市長▼高齢者にとって、話を聞いてくれる相手がいることは本当に大切なことだ。現在シルバー人材センターで行っているが、今後、第2期角田市地域福祉計画策定の中で、社会福祉協議会とも話し合いをしていきたい。

議員▼災害ボランティアセンター施設の臨時開設、および常設について

議員▼令和4年福島県沖地震では、県外のボランティアが長期間、道の駅かくだに車中泊し、風呂は白石市に通うなどしていた。今後起こり得る災害に対処するため災害ボランティアの受入れと、角田市で人材育成をするためにも、拠点となる常設の災害ボランティアセンターが必要と思うが、所見を問う。

市長▼丸森町はボランティア団体と協定を締結しており、旧大内小学校を拠点としている。災害時のボランティア活動は、行政だけでは手が届きにくい支援も期待されることから、前向きに検討したい。

議員▼発災時は、一時的に、災害ボランティアが利用できるように槽の湯を開放してもらいたい。

市長▼ウエルパークは避難所となる施設であることから難しいが、どのような受入れがよいのか、社会福祉協議会と協議をしていきたい。

角田市社会福祉協議会と市役所各課間の情報共有について

議員▼高齢者が集う場所や福祉の窓口では、高齢者対象の事業(例えば、緊急通報システム、福祉タクシー券、中核病院タクシー半額補助、他)の情報担当課の縦割りを外して伝えてほしい。

市長▼適切な情報提供ができるように努め、優しい対応を心がけたい。



「市民力」で、支え合える
角田市へ

菅野 マホ

議員▼日本は超高齢社会を迎えているが、高齢者の心のケアが置き去りにされている。若者を含め広く市民から「寄り添い(傾聴)ボランティア」を募集・育成し、施設や自宅で独り暮らしをしている高齢者を「市民力」で支えていく活動を自治体が行うよう勧めたい。

市長▼高齢者にとって、話を聞いてくれる相手がいることは本当に大切なことだ。現在シルバー人材センターで行っているが、今後、第2期角田市地域福祉計画策定の中で、社会福祉協議会とも話し合いをしていきたい。

議員▼災害ボランティアセンター施設の臨時開設、および常設について

議員▼令和4年福島県沖地震では、県外のボランティアが長期間、道の駅かくだに車中泊し、風呂は白石市に通うなどしていた。今後起こり得る災害に対処するため災害ボランティアの受入れと、角田市で人材育成をするためにも、拠点となる常設の災害ボランティアセンターが必要と思うが、所見を問う。

市長▼丸森町はボランティア団体と協定を締結しており、旧大内小学校を拠点としている。災害時のボランティア活動は、行政だけでは手が届きにくい支援も期待されることから、前向きに検討したい。

議員▼発災時は、一時的に、災害ボランティアが利用できるように槽の湯を開放してもらいたい。

市長▼ウエルパークは避難所となる施設であることから難しいが、どのような受入れがよいのか、社会福祉協議会と協議をしていきたい。

角田市社会福祉協議会と市役所各課間の情報共有について

議員▼高齢者が集う場所や福祉の窓口では、高齢者対象の事業(例えば、緊急通報システム、福祉タクシー券、中核病院タクシー半額補助、他)の情報担当課の縦割りを外して伝えてほしい。

市長▼適切な情報提供ができるように努め、優しい対応を心がけたい。



▲NPO仙台敬老福祉会「こうして超高齢社会を乗り切ろう」研修会資料より



▲屋根瓦の一時修繕をする県外ボランティア(角田市寺前地区にて)



小田川について

小島 正

議員▼赤生ため池は令和元年東日本台風で決壊し、復旧せず工事完了となった。ため池によらず用水を確保する方法はあるのか。

市長▼小田川からの用水の取水は、地藏堂の頭首工及び頭首工上流部の堰から行う。赤生ため池は令和元年東日本台風により、堤体を撤去した。用水不足を補うための代替施設として、小田字黒内地内に水源の井戸を設置した。

議員▼具体的な説明を求め。農林振興課長▼頭首工や上流部の堰などが完全に機能すれば、付近の農地などの水は確保されるのではないかと。地元の方の意見を踏まえ、県と協議した結果である。



▲旧赤生ため池

議員▼「堤防のかさ上げ整備、内水対策としての排水ポンプ設置など検討



▲小田川河川改修工事

する」との以前の私の一般質問での答弁についての進捗状況は。

市長▼かさ上げ整備については、県が小田川水門から阿武隈急行線までの区間で築堤などの改修を行っている。令和7年度完成予定である。排水ポンプ設置については、家屋の浸水被害などで大きな影響が予想される場合に検討していきたい。また、国・県に対し要望活動を行っている。その結果、現在、東北農政局で角田地区の排水解析調査を実施している。



自治センターの活動のさらなる活性化について

相澤 邦戸

政で支援をしていく。

議員▼令和3年度に教育委員会から市長部局に移管されてから自治センターでは地域づくりと地域コミュニティを深めていく拠点としての役割がさらに明確化された。地域の在り方について話し合いを推進するとして、進捗状況と今後の活動計画について問う。

市長▼今までの自治センターの活動の中で、十分できていると思う。今後、地区計画の見直しの中で検討していく。

議員▼今までの活動をさらに活性化させるための機能導入だと思う。地区の課題を掘り下げ、精査し行政の指導・支援を実施してほしいが考えを問う。

議員▼子ども達の勉学。未来の夢、先生方・保護者の思い、地域の方との関わり、時代背景など、学校の歴史には様々な当時の息吹が残されている。今までに閉校となった小・中学校の歴史、資料はどこに、どう保存されるのか。

議員▼小田小学校は郷土資料館、西根中学校は北角田中学校、西根小学校及び東根小学校は各々の学校、金津中学校は東根小学校で保存している。一部の古い資料、学校日誌などは宮城学院女子大学の先生により電子データ化されている。

議員▼今後閉校される学校について問う。教育長▼電子データ化も考えられる。閉校した学校の一つを利用して一括して保存することも選択肢の一つと考える。



角田市の「生活保護事業」について

八島 定雄

議員▼角田市における直近の生活保護の状況(被保護世帯数、被保護人員保護率)について問う。

市長▼令和4年6月1日現在、92世帯、120人、保護率は4.36パーミルとなっている。

議員▼これだけでは、実態が見えない。直近の相談件数、申請件数、申請率は。

社会福祉課長▼令和3年度の相談件数は21件、申請件数は14件、申請率は66.7%である。

議員▼保護の状況について、全国、県内の他市町村と比較すると、角田市はどのような特徴があるのか。

市長▼申請相談は、本人の申請の意思を確認し、申請の意思がある方に対しては生活保護の要否判定に直接必要な情報のみ聴取し、その他の保護の決定、実施及び援助方針の策定に必要な情報は後日、電話等により聴取している。

議員▼生活に困窮した場合はためらわずに申請できるように、誰もが利用しやすいように、「生活保護ポスター」を作成してみてはどうか。

市長▼広報手段として、ポスターや広報かくた、回覧など考えられる。各関係機関や民生委員・児童委員と連携を図り、生活困窮者等も含めた情報が早急につながるよう、努めていくとともに、窓口で相談するとき使用する「生活保護のしおり」もさらに分かりやすいように検討していきたい。



角田市の公衆トイレについて

小湊 毅

議員▼3月の令和4年福島県沖地震の揺れは、非常に大きく、発生した時間も夜中であり、このお宅も、家の中は大変な状況となり、家で寝ることができない方、家のトイレが使えない方、車の中で仮眠された方もいたと思われる。災害の際に優先されるべきことは、水、トイレ、次に食べ物だと私は考えている。

市長▼くみ取り式公衆トイレを、ここ数年で使用している。くみ取り式公衆トイレを、ここ数年で使用している。くみ取り式公衆トイレを、ここ数年で使用している。

議員▼公衆トイレを使用する方に気持ちよく、きれいに使って頂く。きれいに維持していくために、地元の皆様に協力を頂く。その際に、地元の皆様の苦痛を少なくご協力頂けるようにしなければならぬ。

議員▼公衆トイレを、ここ数年で使用している。くみ取り式公衆トイレを、ここ数年で使用している。

市長▼議員の御指摘のとおり、清潔で快適なトイレを維持するためには、地元の皆様の協力が必要であり、協力を頂くに当たり負担にならないよう努めていかなければならない。くみ取り式公衆トイレを順次水洗化する。これについて、費用対効果も踏まえて、今後検討していく。



ナッジ理論を活用したまちづくりについて

馬場道晴

議員▼人の行動をそっと後押しするナッジ理論の活用は、個人の選択の自由を残しつつ、ちょっとした伝え方の工夫などの手助けにより、人々をよりよい行動へと自発的に促す。この仕組みは全国の自治体で採用が広がっている。

今後、行政サービス向上に向けて双方方向にメリットを創出することは全職員に希求され、基礎的リテラシー（適切に理解・解釈・活用する力）ではないかと考える。

議員▼各種施設や事業などへの今後の取組について問う。

よく知られている事例に、レジ前の足マークをつける、国内の一部では男子トイレの便器にハエマークをつけることでマナーが向上する、がん検診や特定健診受診率の改善、食堂では食べ残しの減少などの事例がある。

議員▼職員への啓発や理解を深める研修について問う。

議員▼本市では、市役所の入り口で検温を促すために床に足のマークを貼る、選挙時には受付の順番を示すために床に矢印テープを貼って分かりやすくする、また、田園ホルの座席に「おふでちゃん」を下げて「ここはおふでちゃんの席ですよ」と空間を空けるなどがあげられる。

今後、時期を見て職員研修も検討していきたい。

議員▼各議員の職務について問う。

議員▼本市では、市役所の入り口で検温を促すために床に足のマークを貼る、選挙時には受付の順番を示すために床に矢印テープを貼って分かりやすくする、また、田園ホルの座席に「おふでちゃん」を下げて「ここはおふでちゃんの席ですよ」と空間を空けるなどがあげられる。



金津小学校施設整備事業に関することについて

日下七郎

議員▼金津小学校は、新設校であり、学校教育法に、設置者は、市長となっていることから、次の点について、市長に問う。

議員▼正面のテニスコートを駐車場とすることを提案する。フェンスは車の出入口のみ開けばよく、フェンスがあるので施設すれば、車へのいたずら防止になる。また、先生が児童生徒と違う校舎の裏の駐車場からの出勤でなく正門から出勤すべきと考えるが。

議員▼小学校設置基準について、施設及び整備は、指導上、保健衛生上、安全上及び管理上適切なものでなければならぬと規定していることについて、教育長に問う。

議員▼旧金津中学校用地の裏の駐車場からの出勤でなく正門から出勤すべきと考えるが。

議員▼旧金津中学校用地の裏の駐車場からの出勤でなく正門から出勤すべきと考えるが。

議員▼小学校設置基準について、施設及び整備は、指導上、保健衛生上、安全上及び管理上適切なものでなければならぬと規定していることについて、教育長に問う。

議員▼武道場の位置を予定している。また、プール敷地をスクールバスの乗降所とする予定で、一部駐車場として活用することも検討している。

議員▼正面のテニスコートを駐車場とすることを提案する。フェンスは車の出入口のみ開けばよく、フェンスがあるので施設すれば、車へのいたずら防止になる。また、先生が児童生徒と違う校舎の裏の駐車場からの出勤でなく正門から出勤すべきと考えるが。

議員▼小学校設置基準について、施設及び整備は、指導上、保健衛生上、安全上及び管理上適切なものでなければならぬと規定していることについて、教育長に問う。



角田市が元気を取り戻すために

菊地利衛

【地域集落の課題】

議員▼「角田は元気がなくなった」「10年後の角田はどうなるのか」などの声が聞こえてきたので、集落の実態調査を実施した。最も多かった意見が「共同作業への参加率が低下し、生活環境すら維持できなくなる」ことだった。どのように感じているか。

議員▼「元気な角田のキーワードは若い世代の定住率向上」

代に投資」すべきだ。市長▼同感である。具体的に検討していく。

議員▼若くは世代の参加を促す方策を考える必要がある。

議員▼若くは世代の参加を促す方策を考える必要がある。

議員▼若くは世代の参加を促す方策を考える必要がある。

議員▼若くは世代の参加を促す方策を考える必要がある。

議員▼若くは世代の参加を促す方策を考える必要がある。

議員▼若くは世代の参加を促す方策を考える必要がある。

令和3年度政務活動費収支報告

政務活動費は、議員の市政に関する調査研究等の活動に必要な経費の一部を、議会における会派（会派に所属していない議員も含む）に対して交付し、使途基準に基づき支出します。市議会全体では96万円交付し、執行率は27%で、未執行分は返還されています。

令和3年度政務活動費の会派別支出状況

| 会派 | 会派一心 (4人) | 市民クラブ (3人) | 日本共産党 角田市議団 (2人) | 志政クラブ (2人) | 無会派 (5人) | 計 |
|-----|-----------|------------|------------------|------------|----------|---------|
| 交付額 | 240,000 | 180,000 | 120,000 | 120,000 | 300,000 | 960,000 |
| 支出額 | 200,122 | 0 | 0 | 0 | 60,000 | 260,122 |
| 返還額 | 39,878 | 180,000 | 120,000 | 120,000 | 240,000 | 699,878 |

※詳細は市議会ホームページに掲載しております。



議会日誌

- 5月 1日 かくだ市議会だより第217号発行
- 9日 全員協議会
- 3日 第417回定例会招集告示
- 7日 議員協議会
- 10日 本会議(第1日) 会派代表者会議
- 14日 本会議(第2日) 会派代表者会議
- 21日 本会議(第3日) 議員協議会
- 23日 本会議(第4日) 議会運営委員会
- 27日 本会議(第5日) 会派代表者会議
- 28日 本会議(第5日) 議会運営委員会
- 7日 議員協議会
- 5日 会派代表者会議
- 7日 議会だより編集会議
- 8日 会派代表者会議
- 19日 議会だより編集会議

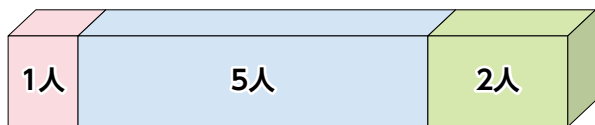
議会だより第217号(5月号)のアンケート結果

かくだ市議会だよりをより読みやすく、わかりやすい広報紙とするため、令和4年度から議会だよりモニター制度を開始しました。9名のモニターの皆さまに議会だよりに関するアンケートを依頼し、8名の方に回答いただきました。

アンケート結果の一部をお知らせいたします。詳細は市議会ホームページをご覧ください。

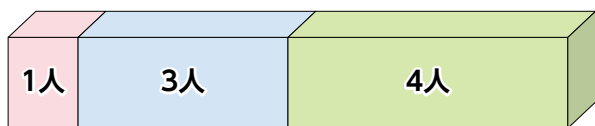
1 全体の編集・レイアウト(文字数や図、表紙を除く写真)について、どのように感じましたか。

とても良かった
 良かった
 あまり良くない
 良くない



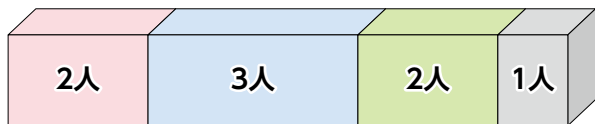
2 「質疑・討論」の記事は読みやすかったですか。

とても読みやすかった
 読みやすかった
 あまり読みやすくなかった
 読みにくかった



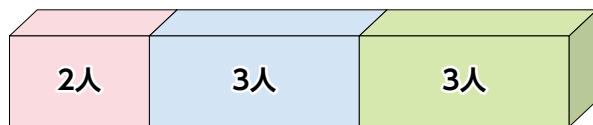
3 「議案審議結果」の記事は読みやすかったですか。

とても読みやすかった
 読みやすかった
 あまり読みやすくなかった
 読みにくかった



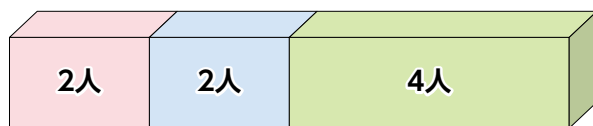
4 「会派代表質問」の記事は読みやすかったですか。

とても読みやすかった
 読みやすかった
 あまり読みやすくなかった
 読みにくかった



5 「一般質問」の記事は読みやすかったですか。

とても読みやすかった
 読みやすかった
 あまり読みやすくなかった
 読みにくかった



たくさんのご意見・ご感想ありがとうございました。

今号では、モニターの皆さまからいただいたご意見等を参考にし、一般質問タイトルのレイアウトを縦書きで統一(6ページから11ページ)しております。

編集後記

今年は、梅雨明けが早く、6月中に猛暑と、記録的な天候になっています。猛暑は私たちに降りかかる災害です。気温の上昇は屋外だけでなく、屋内においても身体にダメージを与え、熱中症を引き起こす可能性を高めます。また、7月に入ると一転して雨の日が続き、記録的な降水量となっており、猛暑が関連する気象変動は、集中豪雨や大型台風の発生頻度が高まります。命を守るために熱中症対策や気象災害に対し、普段から「備えあれば憂いなし」の行動で、今夏をお過ごしください。

議会だより編集会議

委員 堀田 孝一

9月定例会の予定

会期9月2日(金)～9月28日(水)

| 本会議の日程(午前10時開会) | |
|-----------------|------------|
| 9月2日 | 提案理由の説明 |
| 12日 | 質疑・自由討議 |
| 26日 | 討論・表決・一般質問 |
| 27日 | 一般質問 |
| 28日 | 最終日 |

●決算審査特別委員会は9月12日・13日・16日・20日・21日に開催

※日程は変更になる場合があります。

※本会議と決算審査特別委員会はライブ配信を行います。